2013年7月号「vol.37」◎編集：新井絹世　横浜市磯子区丸山2-24-3　◎電話：045-751-5250 ◎FAX：045-761-7451

県議会議員

あらい絹世の 磯っ子レポート

県政をもっと身近に

http://www.araikinuyo.jp

神奈川のブランド品の顔を目指し「湘南ポモロン」など野菜6品種を育成

すしなど日本食が世界中で人気を呼んでおり、国では「日本の食文化」を今年中にユネスコの世界無形文化遺産に登録することを目指しています。一方、和食には、味わいがしっかりした海外ワインより日本産のワインが合うといいます。地域では特産品など地域の特性に合わせた食材がつくられており、神奈川県にも三浦ダイコンなど特産のブランド品があります。県内では87品の農林水産物がブランド品として登録されていますが、このうち野菜6品種8品目を「地産地消の牽引役とすることが出来るブランドの顔」として県などが育成推進に取り組んでいます。この中には日本で初めてサラダ用、生で食べられる野菜として開発されたタマネギ「湘南レッド」、今春、開発されたばかりのトマト「湘南ポモロン」などが含まれています。そのプロフィールは―。

湘南ポモロン（県 HP より）

【湘南ポモロン】果実の大きさ約80g、長円筒形のトマト。生食・加熱調理どちらもおいしく食べられる。リコペン量が一般の大玉トマトの1・5倍以上。レッドとゴールドの2品目がある。

【サラダ紫】収穫後、そのままサラダで食べられるナス。巾着型で果肉は極めて多汁質。ジューシー。生で食べた時の触感は最高。

【湘南一本】1960年神奈川で育成したネギ「湘南」を改良したもの。生産しやすく、食感は甘く柔らか。鍋物やすき焼きなどに適したネギ。

【さがみグリーン】カラシナの一種で新しいタイプの漬け菜。伊勢原のカラシナ品種「大山菜」とタカナを交配して1995年に開発。葉はホウレンソウのように柔らかく、味にクセが少ない。

【湘南レッド】赤タマネギの代名詞となっている品。甘みと水分に富む生食用赤タマネギ。収穫期が6月上旬ごろで、1993年には5月上旬に収穫できる改良種「早生湘南レッド」が開発され、2品目となっている。

さがみグリーン（県HPより）

【神農総研1号】従来県内で栽培されていた品種から選抜育種し、1991年に育成されたやや粘質で食味が良く、収量性の高いサトイモ品種。芋の肉色が白く、煮崩れしにくく、味が良い。

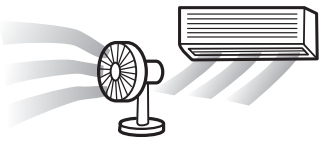
これらは県内15カ所の農産物大型直売センターで扱っています。問い合わせは県農業技術センター（TEL.0463-58-0333）へ。

コレが言いたい！

「地方の時代や地域おこし」がしきりに言われていますが、これらはグローバル化で国や社会の自立がより必要となり、成熟社会を迎えた日本社会で多様化、個性化が進むことになったことと関係があるようです。「時代の流れに沿ったもの」としてしっかり取り組まなければならないテーマだと思います。

今月のひと言

梅雨入りし、蒸し暑い日が続いています。熱中症発生数が過去最多とも言われています。熱中症を予防して元気な夏！【熱中症予防のポイント】室温が28℃を超えないようにエアコンや扇風機を上手に使いましょう▽こまめに水分補給をする▽外出の際は体を締め付けない涼しい服装で、日よけ対策も！



磯子 あれ？これ？

堀割川の由来

磯子区の東端近くを流れ、根岸湾に注ぐ堀割川は約2kmの水路。明治3年井関盛艮が神奈川県知事の時、自費で工事を請け負う者を募って行った事業。吉田勘兵衛の子孫が応募して、明治7年に完成させました。

特に難工事だったのが、今の県警交通機動隊施設の裏山と向かい側（中村町）の丘陵地を掘り下げた工事と言われています。この水路が掘削される前は、堀の内側の丘陵と中村町の稲荷山とは尾根続きで、これにより滝頭・根岸・磯子の臨海部は、吉田新田や新開地（現関内地区）から遮断された別世界でした。また、堀割川建設には三つの目的がありました。①開港以来の人口増加に対応して、吉田新田埋立ての後にも残った湿地を埋立て、土地を広げる事②市中心部と根岸の海を安全かつ効率の良い内陸水運で結ぶ事③未開地だった滝頭・根岸・磯子・岡村方面の開発に寄与する事―とされています。

現在の石積護岸は、明治期の護岸が関東大震災で倒壊したため復興事業によって建設されたものであり、2010（平成22）年に土木学会の「土木遺産」に選奨されました。八幡橋際に銘版を埋め込んだ石碑が建てられています。

明治期に根岸村の元名主成田氏が植えた川筋の桜並木は、横浜の花見の名所の一つとして賑わいましたが、戦後伐採されてしまったことは残念です。河口の農水省動物検疫所敷地内には桜の大木が残っており、春には一般開放され多くの市民が楽しんでいます。また、夏にはボート乗船など水辺に親しめるイベントが「堀割川魅力づくり実行委員会」主催によって『堀割川の日』と銘打ち、本年は8月18日（日）に開催されることになっています。

活動報告

この4月から定期接種となった子宮頸がんワクチンについて、副反応の報告が多く寄せられていることから、厚生労働省でも「定期接種を積極的に勧奨すべきでない」との勧告を出しました。6月24日、26日に開催された厚生常任委員会でも、今後の県としての対応や接種する選択肢も出来ることから、県民の皆さんに子宮頸がんワクチンの効能やリスクについて正確かつ詳細な情報提供を今後も行っていくべきとの要望を出しました。

また、6月17日より各種業界団体による平成26年度予算要望に関するヒアリングが行われました。

アフリカ開発会議に参加されたリベリアのエレン・ジョンソン・サーリーフ大統領と会食

拉致問題の全面解決を目指す全国一斉街頭演説。【6月2日（日）京浜急行横須賀中央駅前】

あらい絹世 プロフィール

- 昭和43年3月8日　横浜市磯子区生まれ
- 横浜雙葉小・中・高等学校卒業
- 明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- 日商岩井㈱ / ㈱メタルワン
- 自民党かながわ政治大学12期生
- 平成23年4月　県議会議員初当選
- 厚生常任委員/社会問題対策特別委員
- 自民党神奈川県議団副団長

あらい絹世に対するご意見・ご感想・ご要望・メッセージをお寄せ下さい・・・・・・・・・・・ FAX 045-761-7451